

情報セキュリティ基本方針

日本精化株式会社（以下、当社）は、重要情報を不正行為やサイバー攻撃、災害などの脅威から保護し、すべてのステークホルダー、そして社会に対して、適切な情報セキュリティ管理を行うことを当社の社会的責任と考え、経営上の最重要課題の一つと認識し、以下の方針に基づき全社で取り組むとともに日本精化グループに展開致します。

1. 経営陣の責任

当社は、経営陣主導のもと、組織的かつ継続的に情報セキュリティ管理に取り組みます。

2. 情報セキュリティ管理体制

当社は、情報セキュリティの維持及び継続的な改善のために必要となる組織を設置し、情報セキュリティ規則を定め、社内に対し、その遵守について周知、徹底を図ります。

3. 情報資産の保護

当社は情報セキュリティの組織的、人的、物理的並びに技術的対策を講じ、当社が取り扱うあらゆる情報資産の保護に努めます。

4. 教育・訓練

当社の役員及び従業員等が情報セキュリティに対する責任と義務の理解、必要となる技術、知識の習得、そして継続的な意識向上のため、当社役員及び従業員等に対して、教育・訓練を定期的に行います。

5. 法令遵守

当社は情報セキュリティに関わる法令、規制及び契約上の義務を遵守するとともに、当社に係る情報セキュリティに関するガイドラインなどについても準拠に努めます。

6. インシデントへの対応

情報セキュリティインシデントに対して、迅速かつ適切に対応するため、体制と対応手順の整備に取り組みます。また、万が一、情報セキュリティインシデントが発生した場合には、迅速かつ適切に対応し、被害の最小化に努めるとともに、再発防止に取り組みます。

7. 継続的改善

当社は情報セキュリティ管理体制及び情報セキュリティ対策の維持向上のため、継続的改善に取り組みます。

制定日：2024年8月28日

日本精化株式会社

代表取締役執行役員社長 矢野 浩史